

## (2) ごみのしよりと利用<sup>りょう</sup>

### ① ごみの回収<sup>かいしゅう</sup>

わたしたちの家から出るごみには、どんなしゅるいがあるのでしょうか。また、ごみの量<sup>りょう</sup>はどのように変わってきているのでしょうか。

むかしは家からごみが出るといっても、台所の生ごみやわらくず、木くずなどがほとんどで、その量も少なかったため、あなをほってうめたり、台所からそのまま流したり、川や海にすてたりしていました。

ところが、生活の様子が変わってきたので、家から出るごみの量もひじょうにふえ、しゅるいも多くなりました。これらのごみを、今までのようにすてていたのでは、くさってにおいがしたり、ハエやネズミがふえたりして困<sup>こま</sup>ります。

そこで、役場やほけん所でもごみの回収の問題を相談するようになりました。こうしてわたしたちの村でも、ごみの回収が昭和52年ごろから行われるようになりました。

片泊地区では、家から出たごみを「ごみすての日」に、じょうぶなふくろに入れて、決められた時間に道路わきのごみステーションに出しています。そして、地区の話合いで決められた係の人におねがいして焼却<sup>しょうきやく</sup>の機械<sup>きかい</sup>まで運んでもらっています。



【ごみの回収】

### ② ごみをへらすくふう

ごみは、一般<sup>いっぱん</sup>ごみと資源<sup>しげん</sup>ごみに分けて集めています。

一般ごみは、燃<sup>も</sup>えるごみと生ごみ、燃えないごみに分けられます。燃えるごみは、焼却の機械で燃やされますが、燃えないごみは地区で決められた

ごみすて場に集められます。

資源ごみは、缶<sup>かん</sup>・びんやペットボトル、紙類などに分けられます。資源ごみとは、てき切にしよりすることにより、ふたたび資源として活用できるごみのことをいいます。

缶<sup>かん</sup>・びんは、子ども会で集めたり、決められたごみすて場に自分たちですてにいたりしています。

また、ペットボトルや紙類なども決められたごみすて場に集められ、たくさんになったら鹿児島市にあるしよりせつに船で運び、ふたたびわたしたちの生活に必要なものに生まれ変わります。

地域によってはさらに、環境保護<sup>ほご</sup>やリサイクルを進めるために、ごみの分別を工夫して取り組んでいるところもあります。



【焼却の機械】



【缶・ペットボトル】



【子ども会による空き缶集め】

## ゴミ・資源ゴミの分け方・出し方（片泊地区）

- ★ みしまの美しい自然環境を守り、限りある資源を有効に活用する為、資源ごみ回収に御協力をお願いします。
- ★ 地域ぐるみで、辛抱強く、ゴミ・資源ゴミの分別に取り組みましょう。

資源	子供会 2か月に1回	 アルミ缶 スチール缶 生びん	飲み物のスチール缶・アルミ缶に限る 中身を空にして水ですすいでから出す 割れたビンは燃えないゴミに出す 黒の一升ビン(焼酎)・ビールビンに限る
	毎月 第三 日曜日 8:30~	 生びん その他びん 無色 茶色 その他 「ふたは燃えないゴミ」 正統の缶	子供会で回収しない缶・ビン 飲み物や食べ物の入っていた缶・ビンに限る 中身を空にして水ですすいでから出す 割れたビンは燃えないゴミに出す
紙類	毎月 第三 日曜日 8:30~	 新聞・からし ダンボール ESBIC	ダンボール・新聞・チラシ・ティッシュ箱・牛乳パック等 種類ごとに紐等で10枚程度にくくって出す ついているビニール等は剥がして燃えるゴミへ 紙パックは平たくつぶして出す アルミのついた牛乳パック等はつぶして別に出す
	毎月 第三 日曜日 8:30~	 PET	中身を空にして水ですすいでから出す キャップははずして燃えるゴミへ出す ラベルやキャップリングはそのまま出す
一般	毎週 水曜日 午前 9:00まで	 燃えるゴミ	ビニール・プラスチック・薄い発泡(トレー・弁当容器等) 生ゴミがついているものは、水洗いしてから出す おむつ・・・汚物はトイレに流してから出す。 中身の見える厚めのビニール袋に入れて出す しばらくは、名前を書いて出す
	毎週 日曜日 午前 9:00まで	 燃えないゴミ	スプレー缶・ガスボンベ缶は使いきってから別にして出す 電池と蛍光灯は別にして出す ビニール袋に入る家電製品は出して良い 中身の見える厚めのビニール袋に入れて出す しばらくは、名前を書いて出す
	毎週 日・水曜日 午前 9:00まで	 生ゴミ	決められた回収日の朝に出す 水分をよく切ってから出す 備え付けのバケツに入れる
その他の ゴミ	連役 場 終に		家電製品 (テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機・乾燥機等)  粗大ゴミ (家具・自転車・ストーブ・カーペット・ベッド等)

- ★ 資源ごみは、毎月第三日曜日の午前8時30分より、ふれあいセンターにて、地区民で分別し、専用のコンテナに入れる。(放送にて連絡)
- ★ 各家庭の代表者で分別し、都合により参加できない場合は、出張所に連絡する。
- ★ 老人宅は、声かけ運動の際、担当者が説明し、一緒に分別してあげる。
- ★ 老人宅の資源ごみは、回収日に担当者を決め、回収する。
- ★ 燃えるゴミ・燃えないゴミのビニールの口は、中身が出ないようにしっかりしばって出す。

三島竹島学園のうつり変わり

年代	おもなできごと
昭和 5 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立学校となる。</li> <li>(硫黄島<sup>じんじょう</sup>尋常小学校竹島分校)</li> </ul>
昭和 22 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>硫黄島小学校竹島分校と名前を変える。</li> </ul>
昭和 24 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹島小学校として<sup>どくりつ</sup>独立する。</li> <li>三島中学校竹島分校と名前を変える。</li> </ul>
昭和 31 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹島中学校として独立する。</li> </ul>
昭和 32 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄きんの校しゃ(今の校しゃ)ができる。</li> <li>毎日給食がでるようになる。</li> </ul>
昭和 38 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>校歌と校章が決まる。</li> </ul>
昭和 56 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校発電所あとに給食室ができる。</li> </ul>
平成 2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>へき地集会室ができる。</li> </ul>
平成 5 年	<ul style="list-style-type: none"> <li><sup>とくべつ</sup>特別教室棟<sup>とう</sup>ができる。</li> </ul>
平成 11 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>しおかぜ<sup>りゅうがく</sup>留学せいどが始まる。</li> </ul>
令和 2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>三島竹島学園<sup>ぎむ</sup>義務教育学校となる。</li> </ul>